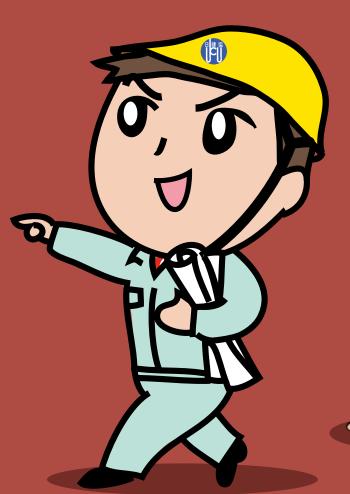
www.nikkenkyo.com



**2 0 0 7** September















**●どうして適正工期 (4週8休)が** 

こんなに違う!

必要なんだろう?

中期時短方針が新しくなります

)みんなで取り組む時短活動

)日建協 秋の会社訪問

加盟組合交流日誌

◇丸彦渡辺建設職員組合 一工ス三菱労働組合 ◇西松建設職員組合 ◇淺沼組職員組合

◇日本建築学会 学術講演 ◇日建協労働法セミナー ◇藤木工務店労働組合 ◇日建協賃金教室 ●東西組合細見

・トピックス

# 悪循環を打ち破れ!

●お出かけにはいつもカメラを−

大切な人との想い出を、

枚の写真に収めよう

# 悪循環を打ち殴れ」

私たちは今、長時間労働を起因とする悪循環の中に陥っている。日建協時短アンケートによれば、この10年、私たちの1ヵ月当りの平均残業時間は増加の一途をたどり、10年前に比べ22時間も長い62時間となっている。また、外勤者では月100時間を越える残業を行っているものが、なんと35%にのぼるのだ。産業の構造改革が叫ばれている今、私たち組合員も強い意識をもって、長時間労働の悪循環を打ち破ろう。



# 時短のために、その 1

# 統一土曜閉所運動の強化



まずは、統一土曜閉所運動を推進しよう。統一土曜閉所運動は、ただ統一土曜閉所日のその日に休むための運動ではない。私たちに「休むことの大切さ」を教え、「心と体の休息」を与えてくれるとともに、皆が統一して休むことにより産業全体として時短意識を高揚させてゆく働きがあるのだ。ひいては、長時間労働を原因とする2つの悪循環を打ち破る有効な手段となるのだ。

日建協では、私たち組合員が長時間労働と闘いやすい環境をつくるため、日建連をはじめとする業界 団体への統一土曜閉所運動の協力要請や、建設専門紙へのプレス発表を行って、統一土曜閉所運動が 産業全体の取り組みとなるよう活動を行っている。

そして、**きたる11月10日(土)は統一土曜閉所日だ**。地道な運動だが、ボディーブローを打ち続ければ、じわじわと長時間労働を苦しめ、打ち破ることができるだろう。さあ、みんなで、**ボディーブローを叩き込もう**。



# 時短のために、その2

# 作業所異動時休暇の制度化ならびに 取得の推進

今まさに休めていない組合員の中で、健康障害やメンタルヘルス不全などに 直面している人もいるはずだ。

土曜日にも働かざるをえない環境にある組合員にとって、建設産業の特徴として、比較的休みやすい時期である作業所異動時を利用した休暇を取得することも、時短の取り組みとして有効な手段だ。

日建協加盟組合の中で、すでに作業所異動時休暇が制度化されている組合は17組合、運用で実施している組合は10組合ある。日建協では、各加盟組合企業に対する会社訪問の中で、制度化も含め異動時休暇の取得推進の協力を要請し、多くの加盟組合企業より理解と協力を得ている。

制度化又は運用されている会社の組合員は積極的に、休日を取得してほしい。制度化も運用もされていない会社の組合員も「自分のため、産業のため」、溜った代休や有給休暇を利用して休日を取得してほしい。**作業所異動時休暇をストレートに申請しよう**。



# 時短のために、その3

# なせばなる、なさねばならぬ何事も

時短推進活動の第一歩は、私たちから。 「なせばなる」の精神を忘れずに、必殺のアッパーをくり出そう。





# お出がほは少多も一直が多りを引がる。



澤田副議一

~大切な人との想い出を、一枚の写真に収めよう~

# 「小春日和な休日の過ごし方」

このCompass最新号がみなさんのお手元に届いている 11月初旬は、立冬を迎え、暦の上では冬となっていますが、 各地では七五三や酉の市で華やぐ季節でもあります。また、 11月というと木枯らしを連想しがちですが、実は木枯らしは半 日か1日で吹き止み、また春のような暖かい日がやってきます。 これが「小春日和 | です。「小春日和 | とは、11月頃、つまり秋 の終わりや、冬の初めに訪れる、春のような穏やかな空模様 の事を言います。そんな穏やかな「小春日和」の休日に、家 族や大切な人と一緒に、どこかへ出かけてみませんか? そ して、家族や大切な人と過ごした楽しいひとときの記録や想 い出を、写真に残してみませんか? ある場所で見た風景とか、 その時感じた家族や大切な人との感動や記憶は歳月ととも に次第におぼろげになりますが、写真に残っていればその時 見た光景が鮮明に蘇ってきます。そして、シャッターを押した 回数だけ、出来上がった写真の枚数だけ、想い出はみなさん の心に深く記憶されるはずです。また、その写真の中のお気 に入りの1枚を、仕事場のパソコンの壁紙に設定したり、机の



中にそっと入れておけば、 それを見た瞬間に、仕 事で疲れた心身を少し 和ませる効果があると 思います。

# 「カメラ版Gショック=現場監督」

話はちょっと脱線しますが、私たち建設産業の最前線の作業所では、工事の進捗状況や出来形・品質管理の記録として写真を撮る機会がとても多いと思います。そういう意味でも

写真を撮ることには、いろいろな想いがあるのではないでしょうか? 私自身、作業所で勤務していたころ、多い日にはフィルム



5本くらい写真を撮っていたと思います。そんな時、いつも私 の首からぶら下がっていた愛機は、建設産業のベストヒット商品、 "現場監督" (現コニカミノルタ製)でした。まあ、ネーミングだけ でなく、今でも"現場監督"が使われ続けている理由は、もち ろん機能面の優秀さがあってのことです。たとえ現場で汚れ ても簡単に水洗い出来るしっかりとした防水構造になってい ます。もちろん、うっかり水をかぶったって平気です。海水浴 だってヘッチャラです。(^^) また、落としたときの衝撃に も耐えるよう、外装はゴムや樹脂でしっかりガードされており、 肝心なレンズも前面を保護パーツでバリアされています。いわ ゆる、防塵・防滴・対衝撃性を高めた"カメラ版Gショック"とも 言うべきカメラです。私自身、このカメラで工事写真を撮って いた中で、出来上がってきた鉄筋の写真の出来映えが悪く、 次の日が生コン打設の予定日だったりするとあわてて現場に 飛び出し、夜遅くまで写真を撮っていた想い出があります。そ ういう点では、1枚1枚失敗しないよう慎重にシャッターを切る 時の緊張感や、写真が仕上がってくるまでの写り具合への期 待感が大事に思えて、今でも銀塩カメラ(フィルムカメラ)には 特別の魅力を感じます。しかし最近では建設産業にも電子 納品などが進み、デジタルカメラでの撮影が一般的になって います。写真もすぐに確認でき、昔のように失敗写真の撮り 直しにあわてることも少なくなってきたと思います。



# 「自分に最良のカメラ選び」

さて、お出かけの話に戻しましょう。

「小春日和」の休日にカメラを持って出かけるにしても、カメラにはいろいろな種類があります。銀塩カメラにデジタルカメラ。 コンパクトカメラに一眼レフカメラにレンジファインダーカメラ。みなさんはどのようなカメラをお持ちでしょうか? やはり、一番ポピュラーなのは、コンパクトなデジタルカメラでしょう。今では携帯電話についているデジタルカメラを含めると、みなさんも必ず1台は持っていると思います。そして何か撮りたいものが現れたとき、鞄やポケットから出して、シャッターを押しているのでは?

最近のデジタルカメラは、日進月歩で新しい技術が採用されています。高画質・高感度化にともなう高速・高精細な画像処理を実現する映像エンジンや手ぶれ補正機能、つい最近では、顔認識機能だけでなく笑顔を見つけてシャッターを切る機能を持ったカメラまで現れ、誰でもプロカメラマン並みの美しい写真を撮影することが可能になりました。そのような多くの選択肢の中でカメラを選ぶときは、すごく迷うかもしれませんが、逆に考えれば機能・用途などは、個人の生活スタイルにあわせて選ぶことができるので、自分の思いを実現してくれるカメラこそが「自分の好きなカメラ」、「自分に合ったカメラ」ということになります。そして、そんなカメラがあったら、きっと想い出がいっぱい詰まった素敵な写真が撮れると思います。

# 「休日の計画を立てよう」

カメラの準備ができたら次は休日の計画をたてましょう。建 設産業は、きめ細やかな施工計画とそれを具現化する綿密 な工程をたて、勇気を持って実行することが必要な産業です。 そんな産業で働いているみなさんなら、仕事の計画や工程だ



けでなく、忙しいながらも休日を取り入れる計画をたて、実行することが出来ると思います。そしてみなさんの休む意識が 高まり、休むための一歩を踏み出す勇気を持てば、必ず結果 はついてくると思います。

折しも厚生労働省では、「文化の日」や「勤労感謝の日」が ある11月は「ゆとり創造月間 | として、労働時間の短縮に力を 入れています。同様に日建協では、ひとりでも多くの人に「休 むことの大切さ」に気づいてもらい「心と体の休息日」を確保 するために、「小春日和」な休日が多い11月に、時短推進活 動の柱として統一土曜閉所運動(今年は11月10日(土))を 展開しています。健康的で創造性あふれる暮らしは、ゆとりの ひとときから生まれます。ゆっくり休んでこそ、しっかり働けるも のです。仕事ばかりに片寄った毎日を過ごしていると、心身に ストレスや負担がたまり、仕事にも健康にも影響を与えかねま せん。是非この機会に、自分自身のゆとりについてもう一度 考え、そして何よりも家族や大切な人のためにも、仕事と生活 のバランスのとれた心地よい休日を過ごしてみませんか? そしてそんな休日のお供に、一台のカメラを持って出かけてく ださい。なぜならそこには、あなたの心を和ます、家族や大切 な人の笑顔があるからです。



# 中期時短方針が新しくなります

# ~時短専門委員会がスタートしました!!~

### 中期時短方針で何だろう?

日建協では時短推進活動の柱として「統一土曜閉所運動」と「作業所異動時休暇」の推進に取り組んでいます。 こうした取り組みも含めて日建協の時短推進活動はすべて中期時短方針の考え方に沿って実施しています。

時短推進の取り組みは、単年度で結果に繋げることがなかなか難しいため、継続的に実施していくことが大切です。 そこで、中期的な時短推進についての取り組み方針をたてることが必要となります。これが、中期時短方針です。

日建協では取り組みの状況や社会情勢に応じて、加盟組合と同じベクトルで取り組めるようにするために、今までも加盟組合のメンバーと一緒に定期的に見直しを行ってきました。ちなみに現在の方針は2004年に策定されたものです。

# どうして時短方針の見直しを行うのか?

私たちの時短に対する意識の高まりに反して、取り巻く労働環境の厳しさにはなかなか改善の兆しが見えず、長時間労働に歯止めがかからない状況です。

そして、社会的な背景としては、「ワーク・ライフ・バランス」 の考え方が広く注目を集めるようになり、労働法制に関しては、 時間外割り増し率を上げようとする動きがあるなど、社会全体 で「働き方」「働かせ方」に対する考え方を見つめなおす議 論が行われています。

こうしたことから、現状の方針の見直しを行う時期にきていると判断し、今年1年かけて新たな時短方針「中期時短方針 2008」を策定することになりました。

# 時短専門委員会がスタートしました!

「中期時短方針2008」を策定していくうえで、加盟組合からメンバーを募集し、時短専門委員会を立ち上げて、今年一年間活動することになりました。

加盟組合の委員長・書記長を中心に

### 「何とかしなければ!!」

そういう熱い思いを胸に、立ち上がっていただいた、9名の強力なメンバーをご紹介します。

### 【時短専門委員】



「魅力ある建設産業の実現を目指し、現場の声を伝えていきます。」 坂谷内 章博 氏シミズユニオン



「メンバーのみなさんと力を合わせて、少しでも良いアイディアが出せればと思っています。1年間よろしくお願いします!」 長澤 秀久 氏佐藤工業職員組合



「将来を見据えた時短方針 策定に寄与できるよう心掛 けます。」 石井 誠 氏 三井住友建設社員組合



「建設産業の抱える問題が ひとつずつ解決出来るように、 日建協活動に取り組んで いきます。」

藤本 一 氏 西松建設職員組合



「ゆとりある生活実現に向け、 みなさんと一緒に骨太な方 針を策定していきたいと思 います。」

松田 喜彦 氏

東洋建設職員労働組合

「かたい話を時には楽しく、 勉強をさせてもらいながら 時短方針策定に協力して いきたいです。」

時短力針束定に協力していきたいです。」 小船 之治 氏 りんかい日産建設職員組合



「時短に繋がる取り組みができるよう頑張ります。」 澤田 昌彦 氏 大日本土木労働組合



「「一人じゃできないこと・・・ それは仲間を作って取り組 もう」を活動の基本として 参加します。」 米川 聡 氏 東鉄工業労働組合



「わかりやすい・取り組み やすい時短活動を目指して 頑張ります。」 原 伸治郎 氏 小田急建設労働組合

# 第1回時短専門委員会 (2007年9月6日)

第1回時短専門委員会では、現在の時短方針の取り組み 内容を再確認したのち、今後どのように時短方針を作ってい くべきかについて、各専門委員から積極的な意見が出されま



# 今後の時短専門委員会について

してくべきだ。

してみたらどうだろう。

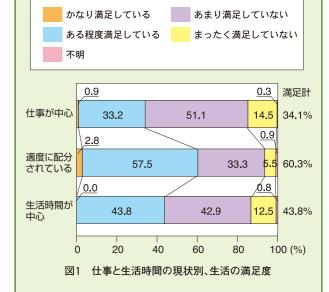
建設産業に働く私たちにとって、長時間労働は"最大の課題"といっても過言ではありません。変わろうとしている社会

情勢もふまえたうえで、日建協では、9名の専門委員とともに、 さらに議論を重ねていきます。

今回の時短方針においては、ワーク・ライフ・バランスの観点からも時短方針を検討していきたいと考えています。加盟組合および組合員のみなさんにわかりやすく、そして取り組みやすい時短方針の策定を目指していきます。

### ワーク・ライフ・バランスについて

みなさんも、最近この言葉を良く耳にすることがあると思います。Compass3月号(Vol.771)でも紹介していますが、「仕事と生活の時間を調和(バランス)させることでより充実した生活をおくることができる。」といった考え方のことです。自分の希望する仕事と生活の時間配分は価値観によって変わってきますが、昨年、調査を行った、生活実態・意識調査によると生活の時間を増やしたいと考えている人は約8割もいました。そして、仕事と生活時間の現状のバランスと満足度の関係について表してみると、(図1)仕事と生活のどちらかが極端に長い時間の人よりも、どちらも適度にバランスがとれている人ほど、満足感が得られていることがわかります。



満足感を得ることで働く意欲も高くなり、仕事の効率も高くなります。それは私たちにとっても、企業にとっても良いことです。ワーク・ライフ・バランスの実現のために、他産業にくらべはるかに多くの残業をしている建設産業においては、まず仕事の時間を減らしていくことを目指していかなければいけません。

そして、生活時間を増やしてその時間を例えば趣味の時間に使うのか、大切な人とすごすのか、そして、その時間は平日なのか、それとも週末なのか、こうした生活時間を確保していくためには、どのような働き方をしていくべきかを考えていくもことも時短に繋がっていく方策の一つではないでしょうか?

 $oldsymbol{o}$ 

# どうして適正工期(4週8休)が必要なんだろう?

### ~こんなに違う!公共工事と民間建築工事の工期設定の考え方~

組合員の皆さん。Compass6月号 (Vol.772参照)で紹介した建築作業所の労働環境改善にむけた提言書「民間建築工事の『4週8休を含む不稼働日を考慮した工期設定』の実現にむけて」が完成し、日建協では関係機関に対して提言活動を開始しました。

今回は、提言書で示している公共工事と民間建築工事の工期設定の考え方の違いをもとに、どうして4週8休を含む不稼働日を考慮した工期設定(以下、適正工期という)が必要なのか、あらためて考えてみましょう。

### 公共工事の工期設定の考え方

国土交通省は公共工事において、建設産業における住宅・社会資本整備の円滑な推進及び建設産業の健全な発展という観点から労働時間短縮にむけた支援措置として「4週8休を含む不稼働日を考慮した工期設定と契約条件への明示」を通達\*1しています。

つまり、祝日、土曜、日曜及び降水 (降雨・降雪)等による作業ができない日を、契約段階から予め工期内に見込む、というものです。

- ☆1 「平成9年度以降の直轄工事の工期設定及び作業不能日の条件明示について」(平成9年5月21日/建設省技調発第97号)
- 1.工期設定について
- (1)工期設定については、4週8休(完全週休2日制)対応 とする。
- (2) 週所定労働時間40時間制に対応した適正な積算を実施する。
- 2.作業不能日の条件明示について

降水(降雨・降雪)等による作業不能日数を特記仕様 書に条件明示するものとする。

### 特記仕様書への記載例

工期は、雨天・休日等(138)\* 日を見込み、契約の翌日から(365)\*日間とする。なお、休日等には日曜日・祝日、夏季休暇及び年末年始休暇の他、作業期間内の全土曜日を含んでいる。

注)\*日は、具体的な日数を記載すること。

### 民間建築工事の工期設定の現状

一方、民間建築工事では、民間契約約款や建設業法に作業不能日(以下、休日条件という)を明示することが義務づけされていないため、ほとんどの契約において休日条件が明示されていません。そのため、日建協の調査(建築工事の作業所アンケート(2007年2月))によると、日建協加盟組合の民間建築

工事の平均的な工期は12ヶ月であり、その工事における休日 条件は4週4休(日曜日、祝日、お盆休暇、年末年始休暇)が8割 を占めています。

つまり、土曜日と降水 (降雨・降雪)等による作業ができない日を、契約工期に見込んでいない、ということです。

### 公共工事と民間建築工事の工期は、こんなに違う!

では、この考え方の違いが工期にどれだけの影響を与えているのでしょうか。

民間建築工事と公共工事の休日条件を比較したものが表1です。これをみると、公共工事の年間実働日(作業を行う日)が227日であるのに対し、民間工事ではなんと288日にも上ります。これを1ヶ月の平均実働日に換算すると、それぞれ19日と24日になります。

表 1 年間実働日数算定表

種別		民間工事	公共工事
不稼動日 (休日条件)	休日種別	4週4休	4週8休
	日曜日	52日	52日
	祝日	13日	13日
	土曜休暇	0日	48日
	お盆休暇	6日	6日
	年末年始休暇	6日	6日
	雨天休止日	0日	13日
不稼動日合計		77日	138日
年間実働日(365日-不稼働日合計)		288日	227日
月平均実働日(年間実働日12ヶ月)		24日	19日

この月平均実働日の違いをもとに工期の比較をしたものが表2です。これより4週4休を休日条件とした民間建築工事の工期設定(12ヶ月)を適正工期に換算すると15.2ヶ月になっています。

つまり、本来見込むべき不稼働日が3.2ヶ月も短縮された短 工期設定となっていることがわかります。

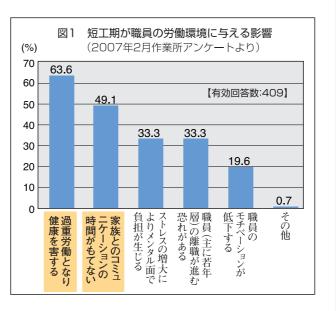
表2 適正工期との比較

	月平均 実働日	工 期	工期
民間工事 (4週4休)	24日	288(実働日) ÷24日/月=12ヶ月	12ヶ月
公共工事 (4週8休)	19日	288 (実働日) ÷19日/月=15.2ヶ月	15.2ヶ月

本来見込むべき不稼働日 15.2-12.0= **3.2**ヶ月

### 短工期をあなたはどう思いますか?

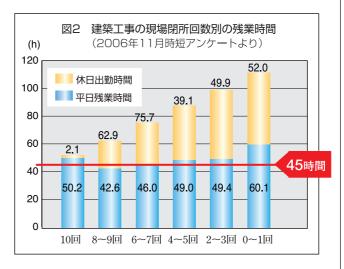
建築外勤者の長時間労働の大きな原因は、過度な短工期設定により、現場が閉所(作業を休止し組合員が出勤しない日)できず、交代でも休日が確保できないことです。日建協の調査(建築工事の作業所アンケート(2007年2月))によると、「短工期が職員の労働環境に与える影響は何か」という設問に対し、6割強(図1)もの人が健康障害を危惧しています。そして、約5割の人が「家族とのコミュニケーションの時間が持てない」と回答しています。



### こうなったら、長時間労働が解消できるよ!

短工期でも土曜日に交代で休めれば、休息が確保できますが、現実はどうでしょうか。

閉所回数と休日出勤時間の関係をみてみます(図2)。閉所回数の少なさに比例して、特に休日出勤時間が増加しています。



このような短工期で休日出勤している現状では、作業所内で 交代で休みをとるにも限界があり、企業内の努力だけでは解 消が難しい状況であることを示しています。

しかし、この図をよく見てみて下さい。逆に、全作業所が10回閉所したら、黄色で表示している休日出勤時間がなくなり、厚生労働省が示す過重労働の目安45時間/月に近づきます。

### そのために日建協がしていること

日建協は、休日出勤時間を減少させるためには、土曜日に現場閉所し所員全員で休息をとれる適正工期が必要と考えます。

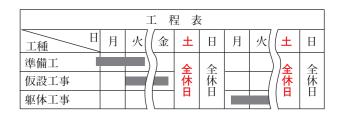
その理由として、公共工事と民間建築工事とも、密閉された 工場ではなく、自然環境の影響をうけながら屋外で作業してい る同じ建設工事と考えるからです。

そこで日建協では、公共工事の考え方を民間建築工事にも 適用し、建設産業全体として取り組む必要があると考え、産業 に関る関係者(国土交通省、厚生労働省、発注者、業界団体、企 業経営者)に対して、その必要性を訴えています。7月から活 動を開始し9月末の段階で、厚生労働省と5回、国土交通省と 1回、発注者関係と2回の提言活動を実施しています。



# そのために私たちが出来ること

まずは、忙しく休めないではなく、休むために職場でどう協力しあえば良いかを個々人が考えてみることから始めましょう。次に、作業所において工程表を作成する際に、4週8休で工程を組み、どうしてもスケジュールが納まらない場合のみ土曜を作業日に組み入れるという考え方に切り替えてはどうでしょうか。具体的には、1ヶ月の稼働日を24日ではなく、19日にどうしたらできるかを考えてみませんか。



一人ひとり休もうという意識をあきらめることなく持ち続け、 組合員のみなさん、加盟組合、日建協が一緒になり産業内外に 声を発していきましょう。

そして、「働きがい魅力ある建 設産業」を私たちの手でつくっ ていきましょう。

提言書の詳細については、 日建協HPを参照して下さい。 (http://www.nikkenkyo.com/)



# 労使一体となって産業の魅力化に取り組もう!

### 労働環境の改善及び建設産業の魅力化にむけた直接対話

日建協では、9月から10月にかけて日建協活動の理解を深めていただくために、また、建設産業が抱える問題に対する 意見交換を行う目的で、加盟組合企業への訪問を行っています。

今回も加盟組合企業の経営者の方々と、労働環境改善に向けての直接対話を実施しました。















### 時短推進活動について

### ■ 建設産業の労働時間の現状について ■

### 【日建協】

昨年11月に加盟組合のみなさんにご協力いただいた「日建協 時短アンケート | をまとめた冊子を資料として、具体的なデータに 基く意見交換を行いました。厚生労働省が策定した「過重労働 による健康障害防止のための総合対策 | にも照らして過重労 働による健康障害の危険を訴えるとともに、長時間労働の解消 を働きかけました。会社側も、労働時間の短縮に向けて真剣に 取り組む必要性を強く感じており、改善策に乗り出している企 業からは具体的な好事例も伺うことができました。

建設産業の長きに渡る課題の一つである長時間労働の削減に 向けて、先日スタートした時短専門委員会でも大いに議論し、時 短推進活動を継続していきます。

### 【会社側の主な意見】

- ・現場職員に極力現場管理の空き時間を見つけて事務所で 書類を作成することや、自分の仕事が終わったら所長がいて も早く帰るように指導した。職員の意識を変えることで残業時 間が減った事例もある。
- ・当社において労働時間が徐々に減少傾向にあるのは、中央、 地方労使懇談会を開催し話し合ってきた成果ではないか。
- ・資料の中にある1ケ月の残業時間のモデルケースが恐ろしい。 残業ありきになっているのがよくわかる。
- ・総合評価制度が導入されて工期短縮への動きもでている。 請負者だけでは解決できない問題でもある。

- ・時短の妨げとなっている人手不足はどこの会社でも直面して おり、建設産業全体で取り組む必要がある。
- ・受注時に短工期を競い合うことが問題であり、最低限必要な 工期というものを業界全体が考えなければならない。
- ・建築基準法が改正され、確認申請が21日でおりていたものが 最長で70日かかるようになったことは短工期での施工を強いら れる悪い要因である。

### ■ 統一土曜閉所運動について ■

### 【日建協】

昨年6月で統一土曜閉所運動も節目の10回目を迎えました。今 回は11月10日の統一土曜閉所日を直前にひかえ、日建協からも 各社にあらためて協力を要請しました。作業所に通達を出すな どして、労使協働による取り組みを行っているところも多数あり、 各社の統一土曜閉所運動への理解の大きさが感じられました。 日建協では閉所そのものを最終目的とするのでなく、統一土曜 閉所運動をあくまで時短意識向上のひとつの契機としてとらえ、 今後の更なる時短推進活動につなげていきます。

### 【会社側の主な意見】

- ・閉所率の向上だけを求めるのではなく、時短意識の向上の運 動だと理解している。
- ・土曜閉所運動の効果は上がってきており、長時間労働削減 の意識付けに役立っている。
- ・会社としても作業所に通達を出して啓蒙している。
- ・土曜閉所運動について経営者として強く取り組むと組合員 に約束した。経営会議でも議題に上げ会社としても強く推進 している。

### ■ 作業所異動時休暇取得に向けて ■

### 【日建協】

工事期間中には十分な休日取得が難しい現状をふまえ、日建 協では加盟組合のみなさんと作業所異動時休暇の推進に取り 組んでいます。約半数の加盟組合において、すでに作業所異 動時休暇が制度化されていますが、制度化されている会社に は制度の確実な運用を、制度化されていない会社には制度導 入の働きかけを行いました。

各社から普段の休日の不足分を補うためにも、作業所異動時 休暇制度の活用は有効であるとの意見が多く聞かれました。 今後も加盟組合と協力し、作業所異動時休暇制度の充実化に 向けて働きかけていきます。

### 【会社側の主な意見】

- ・異動辞令に異動時休暇の日数と取得時期を明記している。 また、取得しやすいようになるべく早めに通知するようにして いる。
- ・作業所異動時休暇は建設産業の現状に即した休暇制度で あり、不足した普段の休日を補うためにもできるだけ取得した ほうがいい。
- ・現場異動時休暇の取得を推進しているが、次の現場が控え ておりなかなか休めない実情もある。

### 産業政策活動について

### 対価を伴わない契約外業務の解消に向けて

### 【日建協】

公共工事の契約内容の明確化と片務的契約体質の改善にむ けて作成した提言書の紹介と活動を報告しました。また、活動の 中で得られた、国土交通省が打ち出す契約外業務の改善に向 けた施策を社内で周知していただくことや、今後施策の運用状 況を確認するために日建協が実施する国土交通省直轄現場を 対象とした、作業所アンケートとヒアリングの協力をお願いしました。 提言内容については各社の関心度が高く、個別の企業では取 り組みが難しい提言内容の実現に向けて、日建協に強い期待 が寄せられました。

今後も国土交通省や各地方整備局への提言を継続して行い、 無報酬業務の解消に向けて活動していきます。

### 【会社側の主な意見】

- ・土工協でも国土交通省の地方整備局に対し具体的な資料を 提示して意見交換を行っている。相手の意識が変わるように 根気よく続けなければならない。
- ・一企業では声を上げることが難しいので、ぜひ頑張っていただ
- ・経営方針として契約外業務をやらないという意思決定は可能 かもしれないが、現場単位で考えると工事評点や、検査時のこ とを考えて取り組みが難しいのではないか。
- ・設計変更は、企業として有利に進めたい部分でもある。しかし ながら、国土交通省の工事担当職員の多くは、設計変更に関 わる業務の大半をゼネコンがやることであると考えているので

### ■ 適正な休日条件を考慮した工期設定のあり方について ■ ■

日建協が民間建築工事の適正工期実現のために作成した提 言書に基き、国土交通省や厚生労働省などの関係官庁やその他、 関係機関に実施したこれまでの提言活動の内容を紹介しました。 短工期での受注の問題については請負産業の形態上、やむを 得ない部分もあるという声も一部では聞かれましたが、多くの会 社で改善の必要性を強く感じているようでした。

今後も加盟組合で組織するアドバイザー会議での検討結果もふ まえて、より効果的な提言活動を目指します。

### 【会社側の主な意見】

- ・本来はこのような問題は経営者が取り組むべきだと思う。非常 に難しい課題であるが、実現に向けて是非頑張ってもらいた
- ・直面している確認申請業務の問題など、いろいろな局面に応 じて考えながら活動してほしい。
- ・各企業経営者や業界団体とも情報交換し、民間連合約款の 改定等について今後検討してみてはどうか。
- ・長時間労働を解決するための課題として適正な工期設定を 取り上げたことはすばらしい。
- ・発注者に工程の短さを競わせられる傾向にある。逆に工期を 延ばすことは発注者の資金が眠ってしまうため、抵抗も予想さ れるが頑張って活動してほしい。

### ワークライフバランスに向けた活動について

### ■『生活実態・意識調査』の概要について ■

### 【日建協】

組合員のみなさんからのアンケートをもとに作成した「生活実態・ 意識調査の概要」を配布し、組合員の生活満足度等について 意見交換を行いました。現状の長時間労働を解消し、仕事と生 活の適度なバランスを組合員が望んでいることを訴えました。 組合員のみなさんのワークライフバランスの実現に向け、アンケー トの声を十分に反映させて労働環境の改善に取り組んでいきます。

### 【会社側の主な意見】

・若年層の転職意識が高いことは大変心配である。転職を考え ている人が6割にものぼり、その半数以上が他産業を希望して いるというのは建設産業にとって危機的状況だと思う。

### 建設業の魅力化に向けた活動について

### ■日建協『出前講座』について ■

### 【日建協】

日建協が大学生を対象に実施している『出前講座』について紹 介しました。各企業とも入職希望者の減少に伴う若年者層の不 足という共通の問題を抱える中、建設産業の魅力を伝える手段 として非常に有効な試みであると、多くの評価をいただきました。 各方面から好評を博している『出前講座』は、今期も継続して実 施しています。

### 【会社側の主な意見】

- ・専門学部の学生でゼネコンへの入職希望者が1割しかいない のは、これからの建設産業にとって深刻な問題であり、そこに 目を向けた『出前講座』は建設業の魅力を伝える意味で非常 に面白い試みである。
- ・建設産業における仕事の面白さをしっかりと学生に伝えてもら いたい。

労働環境改善に向けて障害となっているさまざまな問題やその 解決策について、有意義な意見交換ができました。また、日建協の 活動についても多くのアドバイスをいただきました。

建設産業が抱える多くの課題に対して解決を急がなければなら ないことは労使ともに共通の認識であり、そのために一体となって 取り組むことの重要性を改めて感じました。今後も企業経営者と の直接対話を継続していきます。

10

# 加盟組合交流日誌

Exchange diary of affiliate unions

### ピーエス三菱労働組合

### 日建協の産業政策活動について

勉強会

(2007.08.29)

8月28日、29日と2日間にわたり、ピーエス三菱労働組合において、合併後第5回目となる定期大会が開催されました。大会の最後に杉浦委員長をはじめとする本部役員と全国から集まった代議員の参加により、日建協の産業政策活動についての勉強会を実施しました。限られた時間の中ではありましたが、歯止めのかからない長時間労働の解消を含めた労働環境の改善に向けて、日建協が国土交通省、厚生労働省他関係官庁、発注者団体や業界団体等へ発信する産業政策活動について説明しました。

勉強会終了後、樋口書記長から「『公共工事における無報酬業務を解消するために』について特に興味を持って聞き入っていた。国土交通省の直轄現場は東京土木支店管轄だけでも5現場あり、全国的にも広く請け負っており、提言の内容について強い関心がある。」との感想をいただきました。

「今回勉強会に参加したのは内勤の組合員であるが、今後、単組内で日建協の提言内容と、国土交通省の施策を水平展開し、機会があれば外勤の組合員を対象としての勉強



会も再度開いてもらいたい。」との要望もありました。勉強会はパワーポイントを使っての説明で、非常にわかりやすかったとのことでした。単組内で説明するにあたり、音声も入った説明資料があればいいのではとの意見もいただきました。

音声入りの説明資料を作成してほしいとの要望は他からも寄せられており、日建協では、各単組内の組合員のみなさんに広く提言内容を水平展開していくために現在、製作を検討中です。

### 西松建設職員組合

### 提言内容の実現に向けて活発な意見交換

勉強会

(2007.09.19)

藤本委員長をはじめ7名の中央執行委員が勉強会に参加されました。

提言「公共工事における無報酬業務を解消するために」に対しては、国土交通省が契約条件の明示と設計変更ガイドラインの策定及び運用に力を入れ始めていることに強い関心をもって、多くの質問が出されました。また、「契約内容の明確化においては策定のプロセスを施工者側がよく吟味し、理解した上でないと逆に不利益を被る結果となることが危惧される。契約の明確化が進み、海外並みの契約書が運用されることになると、実質的に弱い立場にある施工者側が発注者よりも深く契約内容を把握しておかねばならない。」と、活動の成果が出た後の注意点についてもご意見をいただきました。

提言「民間建築工事の『4週8休を含む不稼働日を考慮した工期設定』の実現に向けて」については、「元請の視点のみならず、協力業者や作業員の立場も考えて提言を組み立てていくことも必要ではないか。」との意見や、「適



正工期の実現にむけて発注者の理解と協力を得る為には、 発注者サイドのメリットももう少し検討しなおしてみてはど うか。」とのアドバイスをいただきました。

このような、みなさんの貴重なご意見とアドバイスを今後の提言活動の参考としていきます。

### 淺沼組職員組合

### あきらめぬ希望をもち続け、一丸となって努力しよう!

結成50周年記念式典

(2007.09.15)

組合結成50周年を祝う記念式典が開催されました。組合本部の歴代委員、支部の委員、そして淺沼健一社長をはじめとする会社幹部が一同に会した盛大な式典でした。冒頭、柿本浩司本部執行委員長より、半世紀もの間長く厳しい世上に屈せず地道に努力を重ねてこられた諸先輩方の功績に対して感謝を述べられました。

また、『今後、労使相互の高い信頼関係のもと、会社の成長とともに誇りある団結をもって、60年目、70年目へと歴史を刻んでいくことを信じている』と挨拶されました。

さらに『仕事と思うな人生と思え』と題した、原田隆史氏の講演がなされ、式典は終了しました。その後に開催された祝賀会のなかで、社長より『組合と会社との間で、緊張感を持ちながら、一丸となって進んでいこう』と挨拶されました。

式典や祝賀会において、組織や世代を超えて、笑いを多く含んだ会話が随所で見受けられ、参加されていたみなさんにとっていつまでも思い出に残るであろうすばらしい式典でした。



### 丸彦渡辺建設職員組合

### 組合員が一丸になって時短推進活動を展開

執行部との意見交換会

(2007.09.28)

丸彦渡辺建設職員組合の遠藤委員長をはじめとした執行部の方々4名と意見交換を行いました。 間近に向かえた統一土曜閉所運動に対する意見交換では、

間近に向かえた統一土曜閉所運動に対する意見交換では、 運動が協力業者にもかなり浸透しており、統一土曜閉所日 に作業の予定をすると、「この作業所は休まないの?」と、 逆に言われることもあり、最近では月1回の土曜閉所であ れば協力してくれるほど、協力業者の方々も意識が高まっ ているとの話がありました。また、道路協議等の関係で土 日に作業できない作業所の技能労働者が、土日の連休に 最初は不満を漏らしていたが、それに慣れてしまうと、土 曜閉所に対する不満もあまり出なくなったとの事例も聞け ました。

その他、組合独自の時短推進運動への取り組みとして、 組合員から図柄を含んだ標語を募集し、そのポスターを全 作業所に配布し掲示することで、組合員へ時短意識の高揚 を図るという活動の紹介がありました。また日建協へは、 図柄も併せた統一土曜閉所運動の標語の募集をしてもら



うと、社内の作品がそのまま応募でき組合員の意識高揚に 繋がるとの提案がありました。

このように日建協では加盟組合からの貴重な意見をいただき、より充実した統一土曜閉所運動を進めていきたいと思います。

日本建築学会 学術講演 於:福岡大学七隈キャンパス(福岡県福岡市) (2007.8.29~8.31)

# 民間建築工事の適正工期を主張

昨年の土木学会での発表に引き続き、今年は、2007年度日本建築 学会大会(九州)において学術講演を行い、長時間労働の削減にむけ て適正工期の必要性を主張しました。

大会3日目となる31日に、第8部門「建築経済・住宅問題」の「建築 生産一般」セッションにおいて、民間建築工事の長時間労働の削減に むけて作成した提言書「民間建築工事の「4週8休を含む不稼働日を 考慮した工期設定」の実現にむけて」について発表しました。

発表では、時短アンケート(2006年11月実施)と建築工事の工期に 関する作業所アンケート(2007年2月実施)を基に、長時間労働の大 きな要因は休日出勤時間にあること、また、その原因は民間建築工事 の4週4休以下の短工期設定にあることを発表しました。

講演を聴かれた古阪准教授(京都大学大学院)からは、「工期のダ ンピング(短工期)が続いていくことは、品質に影響を及ぼしていくの ではないか、と危惧している。品質を向上させるという観点からも工



期のダンピング(短工期)は改善すべきだ。是非、頑張ってほしい。」 と日建協の主張に理解を示され、提言活動に対するエールをいただ きました。

発表の最後には「建設産業の魅力を向上させるためにも短工期設 定の改善にむけた取り組みを共に行いましょう。」と締めくくりました。

# 日建協労働法セミナー 於:東京グランドホテル(東京都港区)参加者80名

# 基礎的知識を再確認

労働法制の見直しが進もうとしているなか、「労働時間・休日に関す る基礎知識」、「労働時間法制等の動向と問題点」、さらに「企業組織 再編の最近の動向と組合の対応 | について、日建協の顧問弁護士であ る山内弁護士を講師に迎え労働法セミナーを開催しました。

近年、建設産業における長時間労働の実態にあわせて具体的な判 例や日建協時短アンケートにも触れながら講義を進めていただき、参 加者のみなさんが興味深く聴講されていました。

参加者からは「基礎的な事項の再確認ができて良かった。」「企業 再編の最近の動向と組合の対応について知ることができた。」「中身 の濃い講習だった。」との声が聞かれ、大変好評でしたが、それぞれの 項目をもっとくわしく聞きたいとの意見も多く、日建協では今後もより 多くの最新情報をみなさんに伝えていくこととともに、加盟組合のみ



なさんがより興味深く参加できるテーマを厳選してセミナーを開催し ていきたいと思います。

### 日建協賃金教室 於:日本青年館(東京都新宿区)参加者:初級編36名、上級編36名 (2007.10.1/10.2)

# 2008年賃金交渉に向けて

2008年賃金交渉のスタートとして、賃金や人事諸制度に関する知識 を深めるため、賃金コンサルタントの武内崇夫先生を講師に迎え、2日 間にわたって賃金教室を開催しました。

1日目の「初級編」では、賃金交渉を行ううえで賃金用語を正確に理 解しておくことが重要であるとして、「賃金と給料」などの類似用語に 関し詳しく解説していただき基礎的知識を習得することができました。 2日目の「上級編」では、今後、ますます賃金制度の考え方として取り 入れられるであろう「成果主義」を中心に講義がなされました。講義は、 成果主義を導入するにあたり特に重要な項目である「人事考課」に関 して、考課者訓練の演習を行うなど実践的な内容となりました。

参加者からは、「講義内容が分かりやすく、理解できた」という声を いただき、大変好評でした。



参加者のみなさんには、講義で得た知識を、賃金交渉の場において 大いに活用していただきたいと思います。

# クロスワードタイム

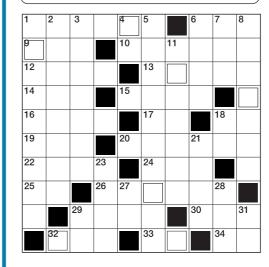
いよいよ日本各地で紅葉の季節ですね。

『秋深き 隣は何を する人 ぞ』深まる秋を感じながら少し手を休めてクロスに挑戦してみませんか?

答え、郵便番号、住所、氏名、組合名、Compassの感想を記入し、はがきかメールでご応募ください。

■メ切:11月30日(金) ■宛先:〒169-0075 新宿区高田馬場1-31-16 守山ビル3階 日建協クロスワード係 (Mailはこちらへ nikkenkyo@nifty.com)

ヒント:1984(昭和59)年11月23日、日本フード サービス協会が協会創立10周年を記念して 制定。この日は、家族みんなでおいしいものを 食べに行きませんか。



### ▶ ヨコのカギ

- 6. 今、問題になっている○○○社会。
- 9. 建築材料や食器などに使われる、透明で堅いが、 割れやすい物質。
- **12.** 石野真子の1979年のヒット曲。「ジュリーが〇〇〇〇 |。
- **13**. 免許や許可を英語でいうと?
- 14. 手の指先の内側にある、多くの線からなる皮膚上の紋様。
- 15. 寝ることです。
- 「〇に当たる」「〇が重い」「〇を終える」。

- 20. ヒマな月日。または、余裕のある心。
- 22. 舞台の背景として、自然の風景や座敷などを描いたもの。
- 24. 資格、性質などを持っていること。
- 25. 1951年9月27日生まれ、徳島出身の俳優「大杉〇」。
- 26. 脊椎動物の表皮の最外層。内部を保護しています。
- 29. 1978年の外国映画。思いもよらぬ遺産を譲られた
- 30. 開いたムロアジなどの干物。
- 33 貴人・主君の敬称。
- 34. 専門の技術を持ち、職業としている人。エンジニア。

### ▶ タテのカギ

- 1. 晩秋のよく晴れた、春のような暖かい日和のことです。

- 10. 2つ以上の国の間を結ぶ航空路線。

- 16. 一度で済むことに、二度もかけてしまうこと。
- 17. まかせられた役目。
- 18. 体全体に羽毛が生え、空を飛ぶことのできる動物。
- 19. 体を指でたたいたりして、その音で内臓を診察すること。

- ちなみに本名は大杉孝だそうです。
- 女性を描くオカルトムービー。
- 焼く時に、独特の臭いが特長です。
- 32. 食肉用の家畜の肉量を増やし、肉質をよくする飼育法。
- ビートたけしが軍団から、よくこう呼ばれています。

櫻井雄二郎(三井住友)、田口敏夫·湯本 尚(名工) <敬称略>

- 1. 小泉今日子の1986年の ヒット曲。作詞作曲はアルフィー の高見沢俊彦が担当。
- 2. 払い戻されたお金のこと
- 3. 「ピーッ」という発信音の後に、 メッセージを吹き込みます。
- ト下の方向に対して、 左右の方向。
- 5. 後に傾くように、調節のできる 座度.
- 6. 海でとれた新鮮な魚介類のこと です。
- 7. 苦しい試合をすること。
- またはその試合のこと。 8. 古代のインド語。梵語。
- 11. 暗示によって、眠ったような状態 にひきいれる術。
- 18. さわると痛みを感じる、植物の針 状の突起。
- 21. 世間一般に通じる規則。
- 23. 物理学と化学のこと。
- 27. 髪の毛をとかす時に使う 道具です。

クと呼ばれています。

- 28. 目が赤く、耳が長い、小形の動物。 29. ハワイで首や頭にかける花輪。
- 31. 熱帯産の常緑高木。大型の実を つけ、その中身はココナッツミル

### No.773クロスワード 正解と当選

### ショクョクファキロエ |カ|イ|ラ|ン|パ|ン|**|■**|ジ|ツ|イ イマ**ロ**リ**ク**アゲ**ロ**キョ シチリン■ルイジョウ |ヤ**グ**ラダイコ||ニ||サ ■サ■イメージアップ ■■イシイルカ■イリ キカイヤ■ピンセン■ |サラダ**||ボ**ーナス|||エ |ク|シ|コス**||**ルイジ**||**ン

# 舫い

8月に東京に着任し、早々に震度3の地震 がありました。こちらは多いとは聞いてい ましたが…。前の勤務地の高松では震度4 の中震を3回経験しました。

最初は平成7年の阪神淡路大震災です。 初めて体感した激しい揺れに慌てた後、し ばらくして変わり果てた神戸の景色がテ レビに映し出されると、にわかには信じが たく言葉を失いました。

平成12年の鳥取県西部地震は事務所で 電話中に。反射的に机の下に潜りながら会 話を続けて失笑を買ったものの、無意識の 行動が防災訓練の効果なのかと妙に感心

# 答えは「クリーニングの日」でした。

たくさんのご応募ありがとうございました。最近応募者数が減っているので、当選確率がグッと上がって います。また、Compassの感想をたくさん書いていただいた方も当選確率が上がる??と思います。 次の方が当選されましたので、追ってクオカードをお送りします。

板垣正吉・谷岡重司(アサヌマ)、金子堅太郎・佐藤周明(安藤)、加納彰紀・浜田達也(小田急)、 植田祥子(鴻池)、竹林 和·西田猪佐雄(佐藤)、沢口 裕·高橋八重子(錢高)、 田中達也·山崎明彦·山田逸朗(大豊)、飯田喜栄·吉持将治(鉄建)、栗木秀治(東洋) 岡田香則·西田明彦(戸田)、萩原由美子(飛島)、小林利充·増田友徳(西松) 峯 純子(ピーエス三菱)、西山雄士(藤木)、瀬川しげ子(ペンタ)、西田 学・渡辺美紀(丸彦)

したものでした。

平成13年の芸予地震はプロ野球観戦中。 外野の芝生席で「ここは安全」と思いきや、 見上げると照明塔がゆらゆら。試合はその まま進められましたが、赤い軍団が陣取る ベンチが騒がしく、次のイニングには目当 ての選手がグラウンドから姿を消してし まいました。帰宅して知りましたが震源地 広島では震度6弱の烈震。選手のみなさんは、 遠く離れた家族の無事を一刻も早く確認 したかったことでしょう。

満員電車に揺られながら「もしここで震度 7の激震に遭遇したら?|と、ふと考えるこ とがあります。せめて地震をあらかじめ予 測できたら。

10月1日からNHKで緊急地震速報が開始

されました。P波と呼ばれる小さな揺れを とらえ、地震の規模や震源地を予測し、S波 が来る前に発表するのだそうです。わずか 数秒から数十秒前の警報とはいえ、大きな 被害を回避できるケースも考えられます。

しかしせっかくの警報に対しても、いざ 地震に遭遇したときの行動を頭に入れて おかないととっさには動けません。

消防庁のホームページに防災マニュア ルが掲載されています。地震に遭遇したとき、 自分がいる場所に応じた行動や注意事項 などが分かりやすく説明されていますので、 ぜひ一度ご覧になってください。

「天災は忘れた頃にやってくる」<br />
寺田寅彦 の有名な警句です。みなさん、地震に対す る備えはしっかり出来ていますか? (与一)

15

日建協ホームページアドレス http://www.nikkenkyo.com/ コンパスへのご意見、ご質問、クロスワード、なんでもこちらのアドレスに ⇒ nikkenkyo@nifty.com

14

# 一歩ずつ、着実に成長していこう!

# 藤木工務店労働組合

大正9年に創立された藤木工務店の本社は大阪にありま す。民間の建築工事が99%を占める会社で、注文住宅から 文化施設まで幅広く施工しています。特に倉敷市では数多 くの施工実績があり、倉敷を訪れた方は、必ず同社施工の 建物に足を踏み入れていると言っても良いのではないで しょうか。

● 設 立:1974年

東西

- 執行委員数:4名
- 組合員数:156名(2007年10月現在)● 執行委員会:月に1回実施 ● 支 部 数:3支部(東京、大阪、倉敷)



左から 中埜書記、勾梅副委員長、岡本委員長、辻書記長

### 組合のスローガンがありましたら、 教えてください。

今年度は、STEP BY STEP~一歩 ずつ着実に成長していきましょう~です。 全てを一気に変えることはできません。そ

の時々の問題や課 題を少しずつです が、より良い職場環 境としていくために 着実に進めていき たいと考えています。



### 組合として現在特に力を入れて取り組ん でいる、また取り組みたいと考えている課 題や目標があったら教えてください。

今年度は、賃金に関するデータ収集等 を主体として活動しています。会社の状 況からここ数年は賃金に関する活動をし ていませんので、今すぐに賃金交渉がで きる状況にはありませんが、準備だけはし ておかなければならないと考えます。また、 自分たちの賃金水準が同業他社と比べ てどの位置にいるのかも認識し、次への ステップとしたいと考えます。この他、以前 から取り組んでいる休日取得状況の分析、 検証を引き続き実施していきます。

### 組合員からの意見で、気になっている ことはありますか?

一つは「将来の不安」という事が気に なります。建設業界の状況、会社の状況 など全般的に漠然と感じる不安です。こ のままこの仕事をしていて良いのか、家 庭を持てるのか、住宅を取得できるのか。 この不安を払拭できるように組合としても 努力したと思っています。しかし、自分た ちも努力しなければ良くならない事も同時 に啓蒙していきたいと思います。

もう一つは休日取得についてですが、き ちんと休みたいという気持ちがある半面で、 現場所長になると、必ずしも土曜に休み たいと思っていない感があることです。責 任感が強いこともあるのでしょうが、雨など の天候を考えると休まず少しでも工程を 進めておきたい、という思いもあるようです。

また、ひとり現場だとどうせ休めないとい う諦め等、様々な理由があるとは思います。 休日を取得しようという組合本部と組合員

の間のギ ャップを 感じてい ます。



辻書記長(左)、中埜書記(右)

### 組合執行部から、組合員に望むことは なんでしょうか?

組合の事でも会社の事でも何でも構わ ないので、思っていること、感じていること があればどんどん言って欲しいと思って います。そして組合活動に少しでも興味 を持ってもらえたらと思います。

### 自分の組合を一言で言うと?

強いて言うと「若い」でしょうか。組合

員の年齢的にも、民事再生が終結し再ス

タートを切 ったという 意味でも。



勿梅副委員長(右)

### 日建協に加盟していて、よかったと 感じる点は?

たくさんの情報やデータを得ることが出 来ることです。アンケート等による加盟組 合のデータや情報は大変参考になります。

### 日建協に期待することは何でしょうか?

当組合の執行役員は、1年任期です。 また、日常業務をこなしながら活動してい ます。分らない事などがたくさんあり、良き 相談役となっていただければ幸いです。

人数の少ない執行部メンバーが、今後の 生活の不安を解消するために、一歩ずつ 着実に活動を積み重ねていこうとする意 気込みが感じられました。ご苦労も大変 多いと思いますが、若さをパワーに組合員 とともに活動を推し進めてくれることを期 待します。日建協では加盟組合と一緒に その支援や協力を惜しみません。

執行委員会という貴重な時間を取材のた めにさいていただきありがとうございました。